

1 ♀, 飯田市温井 (標高700m) 3. IV. 1997, 永幡嘉之氏採集・飯田市美術博物館保管.

既存記録のある場所である (信州昆虫学会編, 1977). ミズナラ二次林の中に通っている小径に沿って飛翔していた個体.

引用文献

信州昆虫学会, 1977, ムカシトンボ. 信州昆虫学会編「長野県のトンボ」, 65-67, 信濃教育会出版部, 長野.
(しかた けいいちろう/飯田市美術博物館)

飯田市における ラミーカミキリの追加記録

四方 圭一郎

長野県伊那谷におけるラミーカミキリ *Paraglenea fortunei* (Saunders, 1853) の分布は, 飯田市が記録の北限であり, 飯田市内においては現在まで1例のみの採集記録があることを報告した (四方・井原, 2000). その後, 飯田市内の2ヶ所で新たに生息を確認したので, 分布記録として報告する.

1 ♂, 飯田市山本西平 (標高660m), 13. VIII. 1999, 筆者採集・飯田市美術博物館保管.

水田の畦に生えたカラムシ群落で採集した. 本個体の他にもいくつかの個体を目撃し, カラムシには後食痕が見られた.

1 ♀, 飯田市水の手 (標高450m), 3. VII. 2000, 筆者採集・飯田市美術博物館保管.

段丘斜面の荒れ地に生えたカラムシ群落で採集した. この他に1個体を目撃し, カラムシには後食痕が見られた. この場所は1998年に分布調査を行ったが, そのときには生息が確認できなかった場所である.

飯田市において複数地点で生息が確認できたことから, ラミーカミキリは伊那谷において徐々に分布を拡大しているものと考えられる. 今後の分布動態に注目したい.

引用文献

四方圭一郎・井原道夫, 2000, 長野県伊那谷におけるラミーカミキリの分布状況. 伊那谷自然史論集, 1, 35-36.
(しかた けいいちろう/飯田市美術博物館)